

赤雪山 山行報告

1. 目的地 : 赤雪山 (あかゆきやま 621m) 栃木県足利市 / 佐野市
2. 日程 : 平成20年3月2日 (日)
3. 天候 : 晴れ
4. 参加者 : 参加者9名 (男性5名・女性4名)
5. 参加費 : 2,200円 (ガソリン代、車・運転謝礼、温泉入浴、事故保険金、鍋材料代)
6. コースタイム :

巨石群入口～奥の院～名草巨石群～林道～赤雪山登山口～送電鉄塔～電波反射板～570mピーク
9:20

～赤雪山 (昼食)～南尾根～松田湖畔
11:40～12:40 14:15着

7. レベル : 標高差 約400m 行動時間約4時間 登山初級 (B)
8. 山行状況 : 名草巨石群入口にある土産物屋を兼ねた茶店は冬場は閉店中だが、15台程は停められる駐車場とトイレは使用可能。車を下山口の松田湖畔にデポして来てから、巖島神社の参道を奥の院目指して歩き出す。

奥の院には巨大な岩が真っ二つに割れた弁慶の手割り石や、体内くぐりが出来る御供え石がある。子宝と安産を祈願して全員が体内くぐりをした。更に進んで御船石や石割楓を過ぎると一旦舗装された林道を歩くことになる。日陰では路面が凍結していて、マウンテンバイクのグループは自転車を降りて押していた。見晴らしの良い路肩ではアマチュア無線の愛好家が交信を試みていた。林道が峠を越える所から稜線に取り付いて本格的な山道になる。送電鉄塔のピーク、電波反射板のピーク、570mのピークとアップダウンを繰り返して、ようやく赤雪山山頂に到着。

山頂には東屋があって、木の間越しに雪化粧した赤城山、袈裟丸山、皇海山などが見える。記念撮影を済ませたらゆっくりと昼食タイム。今回は鮭と鱈を使って味噌仕立ての熱々鍋を作った。9人全員がお代わりしてもまだ余るほどたっぷりの量があって大満足。山頂には30人位の先客がいたが、私達が食事を終えた時には誰もいなくなっていた。山頂には北へ仙人ヶ岳への道を示す道標があるが、ガイドブックには「長丁場のアップダウンが続き、踏み後も薄いため、初心者には勧められない。」と書いてある。それならば尚のこと行きたくなくなる。いつかチャレンジしたい。我々は山頂から南に延びる尾根を伝って松田湖畔に降りた。

赤雪山は松田湖に被さるように聳えているので山の上からは足元の湖が見えない。ダムサイトの駐車場はトイレもあって、ちょっとした公園のようになっている。湖畔の緑地にはホトケノザ (仏の座) やオオイヌノフグリ (大犬の糞) が咲いていて、春間近を感じさせる。去年の山行でこの花を見た会員のM子さんに、「フグリってなんですか？」と清纯っぽい笑顔で聞かれたのを思い出した。

赤雪山 山頂



昼食

南尾根の下山



松田川ダムと松田湖



湖畔の道

